

最新海外医学情報 PICK UP NEWS

公式LINE
始めました！
最新情報やお得な情報を配信中！

ビタミンCが新型コロナウイルスの複製に必要なプロテアーゼを阻害

研究者らは、ビタミンCが新型コロナウイルスの複製に不可欠な主要プロテアーゼに結合し、その働きを阻害することを発見しました。PLproおよび3CLproと呼ばれる2つのシステインプロテアーゼの働きによって、新型コロナウイルスの複製とウイルスゲノムの転写を担うタンパク質が放出されます。ビタミンCは、3CLproに結合し、ウイルス複製プロセスを阻害することが分かりました。3CLproは抗ウイルス剤開発のターゲットにもなっており、エイズやC型肝炎の治療薬としても使われていますが、新型コロナの治療において現在研究されているプロテアーゼの阻害剤は、毒性やコストの問題から、広く実用化に至っていません。一方でビタミンCは安価で安全です。

3CLproに似たプロテアーゼは、ポリオや風邪など多くのウイルスにも見られます。今回の研究結果はまだ初期的なものですが、新型コロナをはじめとする多くのウイルス性疾患におけるビタミンCの有用性が解明される第一歩となるかもしれません。

Malla, T. N. *et al.* Vitamin C inhibits SARS coronavirus-2 main protease essential for viral replication. *bioRxiv*, 2021

無症状の理由はビタミンD関連の遺伝子？

2021年4月に発表された次世代シーケンサーを用いたイギリスの研究で、新型コロナウイルスに感染しても無症状な人がいる理由と考えられる遺伝子が初めて特定されました。この研究ではHLA（ヒト白血球抗原）遺伝子に焦点を当て、感染後に症状が重い患者と無症状の人を比較した結果、特定の遺伝子配列（HLA-DRB1*04:01）が無症状の人で3倍多く発見されました。

著者は「この結果は、環境・遺伝子・疾患による複雑な関係性をハイライトしている。HLA遺伝子の中にはビタミンDに反応するものもあり、またビタミンDの低下が重症化の危険因子であることがわかっているため、この分野での更なる研究が必要だ」と述べています。

David J. Langton, *et al.* The influence of HLA genotype on the severity of COVID-19 infection. *HLA*, 2021



良い脂が癌を殺し、悪い脂が免疫細胞を殺す

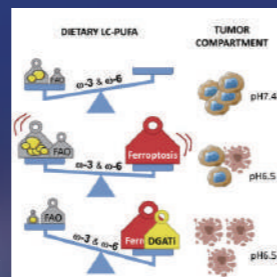
DHAなどのオメガ3脂肪酸が、癌細胞にとって毒になるという研究結果が2021年6月に発表されました。オメガ3脂肪酸は数多くの健康メリットが報告されていますが、抗癌作用における作用機序は明らかになっていませんでした。

癌細胞は、増殖のエネルギー源としてグルコースを脂質に置き換えます。そのような状態の細胞が最も攻撃性が高く、転移を発生させる可能性が高いことが報告されています。しかし、その際の癌細胞の反応は、脂肪酸の種類によって大きく異なり、腫瘍細胞を活性化させる脂肪酸も、腫瘍細胞を殺す脂肪酸もあることが分かっています。DHAが大量に腫瘍内に取り込まれると、フェロトーシスと呼ばれる過酸化プロセスによる癌細胞死を引き起こします。通常の細胞の中では、脂肪酸が酸化から守られているため影響はありません。In vitroの腫瘍細胞にDHAを投与すると、細胞は成長し、その後破裂しました。

一方で、同じく6月に発表された別の研究では、腫瘍内に酸化した脂肪分子（酸化LDL）が豊富に含まれる場合、がんを抑制する免疫細胞であるキラーT細胞の抗腫瘍機能を抑制すると報告されました。T細胞は、腫瘍の微小環境に適応するために、腫瘍内の脂肪分子を取り込みます。腫瘍に酸化LDLが多く含まれる場合、T細胞は腫瘍から取り込んだ酸化LDLによる損傷を引き起こし、免疫機能が低下すると報告されています。

これらの新しい研究結果の関係性（オメガ3脂肪酸で酸化した癌細胞によるT細胞への影響など）は未だ解明されていませんが、脂肪酸の選択による抗癌効果について今後の新しい発見が期待されます。

Emeline Dierge, *et al.* Peroxidation of n-3 and n-6 polyunsaturated fatty acids in the acidic tumor environment leads to ferroptosis-mediated anticancer effects. *Cell Metabolism*, 2021
Shihao Xu, *et al.* Uptake of oxidized lipids by the scavenger receptor CD36 promotes lipid peroxidation and dysfunction in CD8+ T cells in tumors. *Immunity*, 2021



会報誌の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

【発行元】点滴療法研究会 【発行月】2021.08
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-13 アルカイビル4F / Tel: 03-6277-3318 / E-mail: info@iv-therapy.jp

NEW AGE MEDICINE



2021
SUMMER
08
vol.2

Japanese College of Intravenous Therapy



点滴療法研究会

INTERVIEW

上符正志 健康は 金融資産と同じ？

柳澤 厚生先生 学会報告

第50回国際オーソモレキュラー医学会と殿堂入り式典

水上 治先生 症例報告

高濃度ビタミンC点滴療法が奏効した2症例

森永 宏喜先生 症例報告

歯科でのサルコペニア予防へのアプローチ
～健康のゲートキーパーとしての意義～

会員クリニックのご紹介 vol.2

田中クリニック

会員サービスのご紹介

集患サポートバックモニター募集中！
クリニック詳細ページ制作&掲載キャンペーン



健康は金融資産と同じ？

インタビュー

銀座上符メディカルクリニック

院長 上符 正志 先生

総合ホルモン検査を本格的に開始してもう彼は15年くらいになります。

始めたときは、ほとんどの患者さんは総合ホルモン検査の経験はなく、通常の病院検査との違いを知りませんでした。診療する我々も検査値の読み方、分析判断、天然型ホルモン剤治療の経験に乏しく、海外の症例やプロトコルを参考にして、毎回右往左往していました。

特に男性にはホルモン検査などは女性の更年期症状や生理、妊娠時の検査だとの思いが強く、「男性である自分にはホルモンなどを測定する必要はないよ」と断られたこともありました。

多くの男性はよく食べ、よく眠り、適度に運動さえしていれば、今まで通り気力、根性で困難を克服、危機を挽回できると考えていました。40歳を超えて、明らかに総合ホルモンバランスが低下傾向にあるのに、栄光の20代の驚異的な回復体験や集中力、記憶力が未来永

劫続くと信じ、ひたすら仕事に邁進して体を壊していたのです。

男性は、自分だけはいつまでも元気で、病気をしない、もしなっても自力で治すという根拠のない自信を持つ方が多かったように思います。特に人生の成功者と呼ばれる地位も名誉も資産も得た勝ち組男性にその傾向がありました。もちろん晩年を友人や家族と楽しく豊かな時間を過ごすため、365日睡眠、食事、散歩、入浴などほとんど変わらないタイムスケジュールで健康を守り続けた方もおられました。

ほんの10年くらい前には男性は健康偏差値に関して積極的獲得に行く方と自然体に任せる方の両極端の別れ方をしていたように思います。

しかし平成の後半あたりから、働き方改革などで、健康や生活スタイルに対する考え方に変化がおきてきました。仕事中心の24時間から、プライベートや健康獲得に時間を回すようになってきたのです。

このころからIT革命が世界を席卷するようになり、IT産業やベンチャー企業、ゲーム関連企業、音楽業界、不動産、キャピタルゲイン関連など新しい業界人も多くなってきました。そして彼らにも健康意識改革がおき、予防医療に関心度を高めてきました。流れとしてGAFAなどを率いる世界のリーダー達を支える新しいライフ

上符 正志 (うわぶまさし)
銀座上符メディカルクリニック 院長

産業医科大学卒業。ニューヨークのサレーノ・センターで最先端治療プログラムを習得し、日本に導入。2010年に銀座上符メディカルクリニックを開設。キレーション療法を始めとする各種点滴療法、ナチュラルホルモン療法が専門。著書に「NY 式デトックス生活」(WAVE 出版)「若くて疲れ知らずの人は副腎が元気」(マガジンハウス)がある。

米国抗加齢医学会(A4M)専門医、日本抗加齢医学会専門医、同評議委員、点滴療法研究会キレーション認定医、国際医科研究会理事、点滴療法研究会事務局長。

スタイルを知ることになります。

ヴィーガン食、ベジタリアン、ファスティング、瞑想、マインドフルネスなど、つぎつぎに今につながる新しい生活スタイルを知りました。これらを知った彼ら日本の若手起業家は、とてもスマートな思考を持ち、高度成長期の先人達の悪しき生活スタイルを見直し、新しいビジネススタイルの中に健康確保をしっかり取り入れています。

健康や大切な家族との時間に影響が出るまで、過剰に仕事をいれません。どうしても時は有能なパートナーにアウトソーシングして、お互いを守っています。

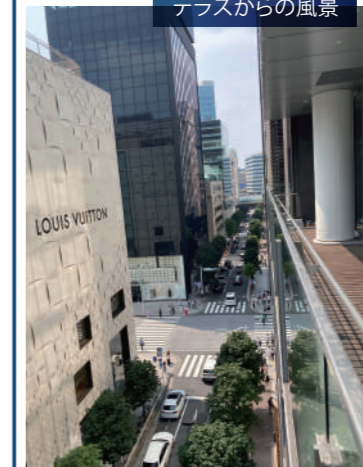
仕事の時間と自分の家族、友人と時間、健康を守る時間をうまく振り分けています。自己と自己外の両面で精神、体力の絶妙なバランスを維持しているのだと思います。

「健康こそが最大の資産だ」と信じる若手経営者も多く見てきました。ある30代の若手経営者は、東京でも豪華で有名な人間ドックの結果データをすべて持参し、当院にやってきました。見た目にも若々しく、言葉、立ち振る舞いも凛々しく、見事な30代を過ごし、自信に溢れている若者に見えました。拝見した人間ドックの検査結果も血液生化学検査、レントゲン検査、理学検査、PET検査などフルドックを施行されており、なにひとつ問題なく、一般には十分に安心できる結果でした。この年齢でこの結果を見て、何をこれ以上希望されているのかと驚いてしまいました。



初診でしばらくお話を聞いていると、彼の健康に対する考えは非常に数理的に計算されているのがわかりました。理工系出身で、金融、ファンドマネージング知識も豊富な彼の考えは次のようでした。「健康も金融も同じ資産である。変化が起きたときは、必ず、何か原因、理由、兆し、がある。それらをいち早く検知、検証して、最短で

テラスからの風景



クリニック外観



最適に対応する。そして原因を共有して、今後の同様事象に素早く対応するスキルを学習する。」

要は、健康も金融資産も家屋と同じ。ほっておくと最初は小さな傷、ミスでも徐々に悪化して、最後は崩壊してしまう。日常の細やかな修正、加療が必要らしいのです。

彼との会話でとても記憶に残っている言葉があります。「将来、万が一病気になる、治療、入院加療が必要になった場合、そのために大切な家族、友人との時間、資産をつかうことになる。特に高齢になってからの時間はとても重要。とりもどせない。その危険性を回避するために、今、若いときに資産を健康に投資して、最高の健康状態を獲得して将来の健康を担保しておきたい」との説明でした。健康指数も正しい予測、対応でリスクヘッジできるらしいのです。

そしてうまくいけば健康寿命といううれしいプロフィールがついてきます。健康ポートフォリオ談義にあつという間に時間が過ぎたのを覚えています。あとで見返して、なんとスマートな健康計画書だなと感心しました。

最近では、このような健康思考の方は増加しており、一般病院の人間ドックと予防医学クリニックでの検査を併用される方が増えてきています。最前線で活躍されるフロントランナーたちは、知識、知恵の泉の維持管理はもちろん、精神面、体力面でもリーダーに相応しい最高レベルの健康が必要になっています。

それを我々予防医学の専門医がバックアップし、いつまでもステージ上で活躍できるように支えたいと思います。



健康増進クリニック 院長

水上 治 先生

高濃度ビタミンC点滴療法が奏効した2症例

症例1

75歳 男性

診断

膵尾部癌、腹膜播種、多発性肺転移と診断

経過

コロナ禍でIVC中断中悪化し、IVC再開後落ち着いてきた症例です。

75歳男性、体重10kg減量したため、2017年4月、某病院受診し、3センチほどの膵尾部癌、腹膜播種、多発性肺転移と診断、GEM+アブラキサン開始、胆管にステント挿入。Ca19-9が4796.8だったのが、順調に下降、10月44.3。原発は大きさほぼ不変ですが、転移巣はやや縮小傾向。12月CA19-9上昇し始めたため、点滴からTS1:80mg内服に変更、2018年3月CA19-9は34.0と正常化。2017年7月当院初診、早速週1回ペースでIVCを継続していました。QOL良好で、何ら症状なく、食欲良好、通常の行動可能でした。CT像もほぼ不変。しかし2020年1月からコロナ禍で自己判断で来院せず、この間肺などの転移巣が若干大きくなり、CA19-9は47.8と経度上昇、9月来院、TS1は不変なので、悪化の主因はIVCを休止したことだろうと本人納得の上、IVC再開しました。以後今日に至るまで、肺などの転移巣は不変状態となっています。CA19-9は2021年5月32.0と落ち着いています。

評価

高齢者は癌との共存でも満足度が高い、という症例です。病院の担当医は「奇跡だ!」と言っているそうです。TS1が3年半経っても、まだ耐性を獲得していないのも嬉しいことです。私はIVCと化学療法の併用は、薬剤耐性が遅くなる傾向を感じています。

症例2

45歳 男性

診断

大腸癌、肝転移

経過

ステージIVで化学療法によって完全緩解し、以後この状態が継続している症例です。

45歳男性、2018年1月某病院で大腸癌、肝転移と診断され、CA19-9が10000以上、2月大腸・肝切除術、しかし早くも5月に肝転移、肺転移、腹膜播種と診断され、CA19-9が439.5。XELOX+ペバシズマブ開始。当院初診は2018年6月、早速IVC開始、副作用軽微で経過。2019年1月には転移巣ほぼ消失、7月CT上完全緩解、CA19-9は2.4。現在ゼロダ8T/日で、何ら症状なく仕事しており、2年間化学療法継続しながら、緩解中で、体調良好で事務系の仕事をしています。ゼロダを減らしたいところですが、化学療法の著効例のため、担当医は減薬に慎重で、当分内服継続となりそうです。来院当初の暗い顔が、今は笑顔に満ちているのが印象的

評価

化学療法の著効例で、IVC併用が化学療法の効果を上げている印象です。ステージIVでは化学療法だけで緩解しても、ほぼ100%再発しますので、無再発が長期継続することを期待しております。



森永歯科医院 院長

森永 宏喜 先生

歯科でのサルコペニア予防へのアプローチ ～健康のゲートキーパーとしての意義～

サルコペニアは筋力の低下、筋肉量の減少、筋肉の質の低下を生じ、それに続発する身体的フレイルの進行による健康寿命喪失の主要な原因となっている。最新の研究では、歯周病菌の感染が腸内細菌叢を変化させて骨格筋の炎症や脂肪化の亢進、筋肉内への糖の取り込み阻害などが生じるとの報告がある(PMID: 33197074)。

ゆえに歯科外来でサルコペニア予防を意識することは重要であるが、今回は歯周病治療を契機としたオーソモレキュラーの栄養アプローチと体組成計によるモニターを通して、消化酵素サプリメントを適用しQOLの低下を防止しつつある症例を供覧する。

69歳 女性

主訴:口臭がする 義歯がかみづらい

既往歴:骨粗鬆症(8年前より) 逆流性食道炎(5年前より) PPIを服用) 変形性手指関節症(ステロイド外用薬使用) 左人工股関節置換術(3年前)

口腔内所見

上下永久歯28本のうち残存歯11本、歯周ポケットは3～4mm(中等度の歯周病)

RT-PCR所見

治療前より高病原性のred complexは少なかった。口腔内バイオフィームの熟成に關与するFusobacterium nucleatumが多く認められたが、治療後には減少した。

治療薬・サプリメントに対する反応

歯周基本治療後の再評価で病的歯周ポケットが認められたため、マウスピースを用いた3DS抗菌栄養療法を提案し了承された。

しかし、この治療で通常用いる抗菌剤(アジスロマイシン)だけでなく、局所応用の抗真菌剤(アムホテリシンB:商品名ハリゾン)、ヒノキチオールを含む口腔薬液(ペリオバスター)でも不快症状が出現し使用不能となり、かろうじて抗菌性乳酸菌ペプチド含有歯磨剤(オーラルピース)のみ少量使用が可能であった。

またオリーブ葉エキス、グルタミン、ラクトフェリン製剤などのサプリメントの併用を試みたが、数日で胃部不快感が生じたためオリーブ葉エキス以外は中止となった。

体組成計測の結果よりサルコペニアが懸念されたため「外来に自力で通院できる状態を維持する」ことを目標にタンバ

ク質を増量する食事指導を行い、消化酵素サプリメント(スペクトラザイム)を併用したところ徐々に食事が増加し、約2か月後に筋肉量などの増加を認めた。自覚症状は「以前より便の出が良くなった、空腹感を覚えることが増えた」とのことであった。



▲3DS抗菌栄養療法に用いるマウスピーストレー。内面に薬液貯留スペースがあり、唾液による希釈を受けずに作用させることができる。詳しくはQRコードの一般向け動画を参照。

腸内細菌の網羅的解析

検出可能な菌量0.01%以上の菌種が、治療前は84種であったが、治療終了後1か月の時点で76種類に減少していた。さらにその4か月後に測定したところ87種類とむしろ治療前よりも多様性が増加していた。

月/日	9月1日	11月11日	月/日	9月1日	11月11日
TP(g/dL)	6.6	6.5	体重(kg)	38.3	39.5
ALB(g/dL)	4.5	4.4	除脂肪量(kg)	29.3	30
AST(U/L)	19	23	脂肪量(kg)	9	9.5
ALT(U/L)	18	20	筋肉量(kg)	27.1	27.7
ALP(U/L)	231	221			
Fer(ng/mL)	18.3	19.6			
hsCRP(ng/dL)	0.01	0			

▲歯周病治療と栄養介入以前と以後での臨床データ所見。血清総蛋白(TP)、アルブミン(ALB)はほぼ変化がないが、AST、ALTの上昇からタンパク質代謝が改善傾向にあると思われる、それが除脂肪量や筋肉量の増加に反映していると考えられる。

考察

歯周病治療を契機として全身の健康状態を確認する機会を得て、この症例での主な問題点のひとつが「消化機能の減弱」であろうとの推論ができた。そのような病態に対するアプローチには様々な手法がある。

消化吸収の負荷が少ないアミノ酸サプリメントを使うのも一法だが、本症例では消化酵素サプリメントを使用し消化吸収能力を補い、筋肉量の維持増加に成功しつつある。口腔内の治療への付加療法のターゲットを上部消化管とするか、大腸を主とする下部消化管に定めるかを十分考慮する必要があると感じた症例であった。



院長 田中 善先生

[略歴]

鳥取大学医学部医学科卒業。医学博士(大阪大学)。大阪大学第一内科(腎臓内科)、大阪厚生年金病院腎臓内科医長を経て、医療法人仁善会田中クリニック理事長・院長に就任(<http://www.tanaka-cl.com>)。がんに対する免疫療法、栄養療法、点滴療法など統合医療を中心に診療を行っている。また医科歯科連携と栄養学を中心とする予防医学を推進する活動を行っている。日本内科学会認定内科医、日本透析医学会透析専門医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、腸内フローラ移植臨床研究会代表理事、日本先制臨床医学会理事、日本老化制御医学会常任理事、IAOMT-Asia (International Academy of Oral Medicine and Toxicology) 副代表。



クリニックに導入している点滴療法

- 高濃度ビタミンC点滴療法
- マイヤーズカクテル
- グルタチオン点滴療法
- 水素点滴療法
- 培養上清療法

専門分野・得意とする点滴療法を教えてください

40年前に医師になって、腎臓内科を専門にしていました。20年前に開業してからは、がんの患者さんに自由診療として統合腫瘍治療を行っています。高濃度ビタミンC点滴療法を中心に、免疫療法、栄養療法など病院での標準治療とは違った治療によって、がんの消失、がんの進行阻止、QOLの向上を目指しています。その中で、点滴療法研究会発足時から高濃度ビタミンC点滴療法を導入し、がん患者さんのベースの治療として行い、良い結果を得ています。



クリニック運営において力を入れている点を教えてください

Stage I、IIで標準治療を受けているが、その治療だけで今後再発、転移をしないかと不安に思っている患者さん、stage III、IVで標準治療を続けるだけでは再発、転移の可能性が高いと不安に思っている患者さん、進行がんで標準治療は効果が期待できないので緩和治療に行くように勧められているが、まだ日常生活に不自由はなく生きていく意欲があり、他の治療で現状の改善、延命ができるのではないかと考えている患者さん。それぞれの患者さんに、現在の個々の患者さんの心身の状態に応じた治療を提案していきます。

20年以上の自由診療によるがん治療の経験から得たノウハウを駆使して、患者さんの人生が幸せであるように支援していきたいと思っています。



落ち着いた待ち合いスペース



点滴ルーム



クリニック外観

先生が点滴や治療において心掛けていることを教えてください

まず初診でゆっくりと、患者さんの病気の経過、病院での治療、現在の状態(寛解、再発、転移など)をお聞きし、さらに患者さんの既往歴、合併症、現在の症状で一番気になること、家族構成、経済状態、仕事内容、教育程度、現在の生活について(食欲、便通、仕事など)、今後の生活で心配なことなどを十分にお聞きした上で、現在最適な治療法を提案し、経済状態に合わせて選択していきます。病気の状態から医学的に最適な選択肢があっても、患者さん側の経済状態などで選択肢が変わって

くることもあります。その中で精いっぱい患者さんを支えていくように努力しています。治療が非常に奏効することもある一方、あまり好結果が得られないこともあります。しかし、患者さんに対するempathyを持つことにより、結果にかかわらず患者さんに幸福感が得られると確信しています。

マスターズクラブ会員の先生へのメッセージ

ぜひ一度、クリニックにお越しください

がんの治療だけではなく、保険診療枠内の治療ではどうすることもできない病気や病状があります。その時、医師としては日本だけではなく全世界からその治療法を求め、患者さんを心身ともに支えていくということが医師としての専門職の仕事だと思います。決まりきった治療だけで医師としての責任を果たしたと考えると満足していいのでしょうか。現在の日本の医療は充実した保険診療の弊害として、医療鎖国状態に陥っています。これを打破するのは、マスターズクラブ会員の若い医師たちであると確信しています。まだまだ少数派ですが、必ず我々の時代がやってきます。希望をもって進んでいきましょう。



医療法人仁善会 田中クリニック

■ 診療科目	内科/循環器科/アレルギー科/ リハビリテーション科	■ 責任者	田中善 理事長・院長 鳥取大学医学部医学科卒業
■ 電話番号	06-6711-3770	■ 所在地	〒544-0024 大阪市生野区生野西2丁目3番8号 電気館ビル1階
■ 公式サイト	https://www.tanaka-cl.com/	■ 診療時間	月・水・金曜日 午前9:00~午後12:00 午後4:00~午後7:00 火・木・土曜日 午前9:00~午後12:00 日曜日、祝祭日 休診

日本先制臨床医学会第4回学術大会のご案内

医療保険制度に則った保険内治療の枠内にとられず、新時代の先制医療にふさわしい国内外の先制医療的治療を担う研究者をお招きし、最新の医療情報の交流の場として、学術大会を開催致します。

田中善先生が大会長を務める本大会は、点滴療法研究会が後援。柳澤会長をはじめ当会会員の先生もご講演されます。ぜひご参加ください。



第4回学術大会 JSPCM TOKYO 2021 - 世界へ発信する先制医療 -

新時代の先制医療 11/20(土) 12:00~20:00 (情報交換会)

特別講演 講師 小林久隆 (NIH/NCI 米国立衛生研究所・国立がん研究所 光免疫療法 研究・開発者)

大会長 田中善 (医療法人仁善会理事長 田中クリニック院長)

副大会長 福沢嘉孝 (愛知医科大学 教授)

11/21(日) 8:00~19:00

JSPCM | 一般社団法人 日本先制臨床医学会 <https://jspmcm.org>

第50回 国際オーソモレキュラー医学会と 殿堂入り式典

国際オーソモレキュラー医学会 会長 柳澤 厚生 先生

私が会長を務める第50回国際オーソモレキュラー医学会 (Orthomolecular Medicine Today Conference)が2021年5月28日から2日間、カナダのトロント市でオンラインにより開催されました。学会1日目はカナダ現地時間の朝10時より、私の50周年を祝う会長スピーチと開会宣言で学会が始まりました。

50周年を祝うスピーチと開会宣言

「国際オーソモレキュラー医学会会長として皆様と記念すべき第50回総会を祝えることをうれしく思います。私たちはエイブラム・ホッファー先生、ライナス・ポーリング先生を始め、多くのパイオニアの方々の偉業に敬意を表します。また、私たちはオーソモレキュラー医学会の新しい時代の50年、ニューエイジに生きることにワクワクしています。私たちのミッションは研究や教育、そして実践してオーソモレキュラー医学を世界に広めることにあります。この新型コロナの時代に於いて、オーソモレキュラー医学はこれまでにないほど医療従事者や市民に拡がりました。なぜならオーソモレキュラー栄養医学による新型コロナの予防や治療は効果的で実践的、すぐに導入でき、安全で安価であるからです。市民は皆さんに期待をしています。ぜひ同志の皆さんと共に健康な世界を作りましょう。それでは第50回国際オーソモレキュラー医学会総会の開会を宣言します。」

学会は2日間に様々な分野の講師による12講演が行われました。内容は国際オーソモレキュラー医学会の歴史、オーソモレキュラー栄養療法によるメンタルヘルス、精神疾

患、アルコール依存症、がん治療、新型コロナウイルス感染、幹細胞療法などです。

私が注目したのはアメリカのリチャード・チェン博士による「ビタミンCと新型コロナウイルス感染：オーソモレキュラー療法は患者の予後を改善する」という講演でした。



リチャード・チェン博士

チェン博士はビタミンCの経口投与や点滴の有効データを示しながら解説しました。高濃度ビタミンC点滴による新型コロナウイルス感染の臨床研究に参加している病院では、スタッフが毎日ビタミンCを摂取しているそうです。彼が国際オーソモレキュラー医学会誌に発

表した論文を示し、「ビタミンC、ビタミンD、亜鉛などを適切に投与すると、人間の体の中では様々な栄養素が相互に関わりながら免疫力を高め、新型コロナウイルスに立ち向かう。ライフスタイルを見直し、健康的なコミュニティの中で集団免疫を獲得すればコロナを克服できます。新薬もワクチンもありません。これからは統合医学的なオーソモレキュラー療法こそが主流になるだろう」と締めくくりました。今年の秋にチェン博士と私は共著で新型コロナに関する論文や総説を執筆することが決まっています。ぜひ楽しみにしていただきたい。



2021年度オーソモレキュラー医学 名誉の殿堂入りは3人の功績者に

学会2日目の最後にライブで恒例のオーソモレキュラー医学会殿堂入り授賞式典が行われ、デリック・ロンズデル博士、リチャード・A・パスウォーター博士、ニール・リオルダン博士の3人の受賞者が殿堂入りしました。

ロンズデル博士はチアミン(ビタミンB1)欠乏症の先駆的な研究と治療の確立で受賞しました。博士はイギリスで生まれ、ケンブリッジのクイーンズ大学医学部を卒業後、ロンドンのサイデンハム小児病院で小児科医としての道を歩き始めます。1953年にカナダのオンタリオ州に移住し、カナダ空軍の医師として働きます。その後、アメリカのクリーブ

ランドクリニックに勤務します。この時に栄養療法、特にチアミン欠乏症について、多くの業績を残しています。最近では子宮頸がんワクチン後遺症とチアミン欠乏との関連性を報告しています。彼はこれまでに「ビタミンB1の臨床使用への栄養士ガイド」(1987)、「なぜ私は正統派医学を去ったのか：21世紀を癒すために」(1994)、「新しい医学のための栄養的アプローチ：近代的な医学はあなたを助けますか?」(2013)、「チアミン欠乏症病害と高カロリー栄養失調」(2017)などの著書があります。

パスウォーター博士は抗酸化作用と栄養に関する世界的な功績で受賞しました。米国デラウェア州ウィルミントンに生まれ、デラウェア州立大学で科学を学び、アルバーニア大学で博士号を取得しました。分析化学や化学薬品の会社、



ロンズデル博士



パスウォーター博士



リオルダン博士

その後、栄養科学研究所に勤め、セレンや様々な抗酸化物質の研究を行い、抗酸化物質の相乗作用を発見しました。1970年代初頭には、ナショナルフットボールチームの最初の栄養アドバイザーであり、プロボクサーで人道主義者であるモハメド アリの栄養アドバイザーでもありました。1975年に出版した「スーパー栄養：メガビタミン革命」はベストセラーとなり、これまでに栄養に関する45冊以上の書籍、600の論文を書いています。日本でも「バスウォーター博士のがんと闘う超栄養療法—微量栄養素の使い方」が1997年に翻訳出版されています。

リオルダン博士は卓越した再生医療への功績で受賞しました。父親は高濃度ビタミンC点滴療法で有名なヒュー・リオルダン博士です。リオルダン博士はウィチタ州立大学で理学士号を最優秀で取得、ネブラスカ大学医療センターで修士号を取得しました。その後、アメリカ医科大学で健康科学の博士号を取得しました。博士は、臍帯組織由来の間葉系幹細胞による治療を専門とする世界でも有名な幹細胞研究所とクリニックをパナマに創設、臨床研究と治療を行っています。また、テキサス州サウスレイクにあるリオルダン医学研究所を設立、自家骨髄由来幹細胞と羊膜を組み合わせた整形外科疾患の治療材料を提供しています。リオルダン博士は、高品質の栄養補助食品を提供するアイダンプロダクツ社、再生医療製品を提供するシグネチャー・バイオロジック社の

会長でもあります。博士は国際的な医学誌に70編を超える科学論文を発表し、多発性硬化症、脊髄損傷、心不全、関節リウマチ、デュシェンヌ型筋ジストロフィー、自閉症などに対する幹細胞療法に成果を出しています。リオルダン博士とは米国のパルメーカー賞と一緒に受賞したのを機に、親友となりました。リオルダン博士は2015年に点滴療法研究会の招きで来日、再生医療とその未来について講演をしています。

終わりに

私事ですが、50回オースモレキュラー医学会を最後に2012年から9年間務めていた会長を辞し、新しい会長を迎えるよう学会の理事会に申し出ていました。ところが、50周年総会の直前に理事会から会長の続投を打診されました。理由は、新型コロナウイルス感染によるパンデミックという大きな時代の変化が起きているときに、ましてや会員同志がおたがいに顔を合わせて交流できない状態で会長交代を推し進めるのは、学会の組織自体が揺らぐ可能性があるということです。私は10年も同じ人間が会長を続けるのはマンネリ化しやすいので、組織の若返りが必要だと考えていました。しかし学会がパンデミックの中でも成長しているという現状を考えれば、確かに今はトップを変える時期ではないと言えます。私は続投を決意し、理事会には2年間の会長受諾をお伝えしました。これからも皆様の応援をよろしく願います。

Information 日本オースモレキュラー医学会第3回総会

コロナ禍から学んだことを生かしつつ、先人たちが築いてきたオースモレキュラー医学の原点から最新情報まで学び合える貴重な機会です。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



今すぐ取り入れたい!

WEBでの集患方法!

近年、集患を考えるにあたり、WEB施策の重要性が増してきています。患者様がクリニックを選ぶとき、55.3%が「公式HP」を、39%が「口コミサイト」を、17.3%が「地図アプリ」を見るという調査結果もあります。(※)

ホームページのあるクリニックは多いですが、WEB施策にまで手が回らないという声も多く聞かれます。これからの時代、WEBを活用しないのは大きな機会損失です。今すぐできるWEB施策で、集患効果の高いホームページを目指しましょう。

まずはWEB上での集客導線を確保しよう!

ホームページを用意しても、患者様に見てもらわなければ意味がありません。WEBにおいて「集客」はとても大切です。集客導線を確保するだけでも、飛躍的にクリニック認知を高め、集患へとつなげることができます。

SEO対策をはじめ

患者様がWEBで検索するとき、クリニック名で調べることは稀です。実際には「症状×地域」など、自身の悩みを鍵に検索します。そのとき、検索結果の上位にホームページを表示させるための施策が「SEO対策(検索エンジン最適化)」です。検索エンジンの仕組みに適合するように、ホームページを改善していくこと

で対策します。

ただし、この仕組みは日々変化しており、ホームページの裏側の調整も必要のため、個人では対策しづらいことも。また、効果が出るまでに時間がかかるため、強く対策していく必要があります。

リスティング広告を出稿

一方、すぐに上位表示させる方法が「リスティング広告」です。検索をしたとき最上位に広告枠で表示され、クリックごとに課金されます。

ランニングコストがかかるため、将来的にはSEO対策での上位表示を目指したいものですが、必要に応じて活用してみましょう。

被リンクを増やす

検索以外にも、病院ナビやホスピタなどの医療ポータルサイトからも集客することができます。より多くの流入経路を確保しておくことも、WEB集客のために大切です。親和性の高い外部サイトからの被リンクは獲得しておきたいものです。当会からも「クリニック一覧に表示(無料)」や「詳細ページの作成(有料)」のサービスをご用意しております。ぜひ活用ください。

Googleマップへ登録

行ける距離であることは、病院選びの重要なポイントです。Googleマップ上で

クリニック検索をする方も年々増えてきています。Googleマップへの情報登録はほぼ必須といえるでしょう。

SNSの運用をする

近年増えてきたのがLINE公式アカウントの運用です。一度接点をもってくれた患者様と継続的にコミュニケーションをとることで、実際にクリニックへ足を運んでいただくきっかけを作ることができます。

継続的に効果を図り改善を続けよう!

実際の集客数や流入元を可視化できることはWEBの強みです。大切なのは、一度作成しただけで終わらずに、実際に効果があったのかを検証することです。継続的に改善していくことで、より集患効果の高いホームページへとレベルアップしていくことができます。

今回は今すぐ取り組めるWEB施策をご紹介しました。とはいっても、毎日の診療でお忙しい先生ご自身で対策するのは難しいものです。場合によっては、プロの手も借りながら、WEBからの集患数を増やしていきましょう。

今年9月には、新患・リピーターを増やすためにやるべき施策を学ぶセミナーを開催予定です。ぜひご参加ください。



※「病院・クリニック選び」に関する調査より(2020年7月14日実施/インターネット調査/全国20~60代の男女1,099人が対象/サイジニア株式会社)

ウェブからの集患に必要なモノをトータルサポート!
「集患サポートパック」をご用意しています。

詳しくは
次ページを
ご覧ください。

会員サービスのご案内

会員サービス一覧

様々な会員サービスをご用意しています。ぜひ、ご活用ください。

認定医制度

真摯に点滴療法を学び、正しい方法で治療を提供できる会員医師を明確にするため、患者様に質の保証をする認定医制度を設けています。合格者には認定証を発行、ホームページのクリニック検索にて情報公開。

- ・高濃度ビタミンC点滴療法認定医
- ・キレーション療法認定医
- ・オゾン療法認定医

学習サポート

- ・医学情報の提供
- ・会員専用Q&A
- ・動画学習
- ・セミナー優待
- ・学習コラム配信
- ・他学会連携

国際オーソモレキュラー医学会
日本オーソモレキュラー医学会
国際個別化医療学会

クリニック運営サポート

- ・クリニックのご紹介
- ・集患サポートパック
- ・点滴療法同意書ダウンロード
- ・リンク用バナー配布
- ・オンラインショップ
- ・書籍掲誌
- ・会員証発行

会員サービスのご利用にはログインが必要です。



メールマガジン登録のお願い

大切な情報をお届けしております。まだ登録していない先生は、ぜひご登録ください。



最新情報やお得な情報を配信中!



公式 Facebook



先着
4クリニック
限定!

集患に必要なサービスがオールインワンに!

集患サポートパック モニター募集中!



ウェブサイトを通じて集患を強化したい先生にオススメ!

どんなに良いクリニックでも知られてもらえないと意味がない... インターネットからの集患を増やす、集患サポート付きのホームページ作成/パッケージを作りました。今だけ、モニター価格40%OFFでご提供しています。モニター残数わずかです。この機会にぜひご利用ください。



先生の思いや専門が患者さんに伝わるホームページに	検索上位に! 万全のSEO対策つき	Googleマップへの登録も代行
PC・タブレット・スマホ全てに対応	パンフレットや院内動画など販促ツールつき	指定地域に広告表示! 検索上位に!
病院なびやホスピタ等と連携!	プロによる写真撮影つき	院内スタッフが簡単に更新できる仕組みに
継続的にサポート	実際の効果は? 毎月のレポート報告つき	公式LINEアカウントも活用!

4クリニック限定 / モニター募集! 627,000円(税込)~
無料相談受付中! お気軽にお問い合わせください。▶▶▶

祝! クリニック一覧検索回数 8万回突破記念! 8/31 まで限定! クリニック詳細ページ 制作&掲載キャンペーン

さらに、クリニックの認知を高めたい先生オススメ!

この度、点滴療法研究会クリニック一覧(会員無料)検索回数8万回を突破したことを記念し、キャンペーンを企画しました。検索語、患者様にクリニックをもっと知っていただきたい先生必見のサービスです。ぜひ、ご活用ください。尚、詳細ページ作成&掲載をされたクリニックにつきましては、当会Facebookにてご紹介させていただきます。

検索一覧 サービスの特徴 > ベーシック1を学習済の先生のみが掲載可能 google, Yahooなどの検索エンジンから先生のホームページに誘導 月間6,600PV 年間80,000PV 以上

通常制作&掲載費 45,000円 → 今だけ! 15,000円割引! 30,000円 (税込)

「クリニック詳細ページ作成サービス」ならより強力な訴求が可能です!

掲載内容
●院内写真(1~5枚)
●医院の特徴
●ドクターインタビュー
●得意とする点滴療法
●治療へのこだわり
●患者様へのメッセージ
●診療時間案内
●アクセス情報

年間検索数 約8万回
詳細ページがあると 上位検索 されやすい

お得なキャンペーンは期間限定! お申し込みはお急ぎください。右のQRコードよりお申し込みいただけます。▶▶▶

点滴療法を動画で学ぼう!
おすすめの動画はこれ!

食事・現金・アレルギーは一体で考えよう
有腎と無腎だけを 見ずに、全身を見よう
CASE 1: 尿管結石、尿管狭窄、尿管炎、尿管狭窄
CASE 2: 慢性腎臓病
CASE 3: 腎臓病の予防、検査、治療
CASE 4: 腎臓病の予防、検査、治療
CASE 5: 腎臓病の予防、検査、治療

オゾン療法の概要と 同療法を用いた 3 症例の報告
●オゾン療法の作用機序
●症例1: 関節リウマチ
●症例2: 慢性腎臓病-オゾンガス吸入
●症例3: 過敏性腸症候群

動物のための 栄養療法の症例
●症例1: 肝臓腫瘍
●症例2: 頭部腫瘍

購入特典付き 点滴手技 vol. 01~03

動画一覧はこちら

会員同士の知識共有!
医学コラムを 募集&配信中!

点滴療法や栄養療法の発展を目的に会員の先生方がお持ちの知識やノウハウをご共有頂いています。また、寄稿して頂ける先生も随時募集しております。

コラム例

- 「アンチエイジングとオーソモレキュラー医学」
松山医院 院長 松山 淳 先生
- 「がんに対する免疫の重要性を認識する最近の治療法の傾向」
医療法人仁善会 田中クリニック 理事長 田中善先生
- 「コレステロール代謝と体内環境」統合医療 ハートフルクリニック 院長 平良茂先生

過去コラム閲覧にはログインが必要です。

寄稿に関してはコチラ

協賛企業のご紹介 (五十音順)



アークレイ株式会社

【血中ビタミンC相当値を簡単・迅速にチェック可能!】ポケットケムVCは自己血糖測定器と全く同じ手順で簡単に血中のビタミンC相当値を得ることが可能です。まずは、資料請求からお気軽にお問い合わせください。

TEL.050-5527-7700



Wismettacフーズ株式会社 ナチュメディカ事業グループ

ナチュメディカのサプリメントは、栄養療法フォローを目的として、安全性・科学的根拠・機能性にこだわった設計です。柳澤先生ご監修の「点滴療法専用サプリメント」をはじめ、様々な局面でご活用いただけます。

TEL.03-6870-2006



株式会社玄米酵素

(株)玄米酵素 1971年創業
「玄米酵素」玄米、胚芽 表皮を麹菌で発酵した自然派サプリ 学術論文が30本以上
140以上の医療機関がご利用 ビタミン11種、ミネラル10種、食物繊維、抗酸化成分も豊富

TEL.011-736-2345



第一産業株式会社

九州大学・昭和大学歯学部・日本歯科大学との共同研究を基に、様々な口腔内病変の改善を目的とした、フコイダン・白なた豆エキスを含有した口腔内専用の製品

パワーフコイダン マウスジェル CG

TEL.06-6131-0370



一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会

オーソモレキュラー医学とはビタミンやミネラル等の栄養素を正しく取り入れ、病気の予防や治療を行う治療レベルの栄養療法です。今年10月16日～17日東京開催の第3回総会で豪華な講師陣より最新情報を学びませんか。

TEL.03-6821-1461



株式会社First Health Japan

最高水準の医療・技術を必要とする医師と世界の医療機関・情報を繋ぎサポートいたします。USBioTek社/NutriPATH日本総代理店、海外調剤薬局配合剤、G6PD迅速定量検査、ビタミンD迅速検査等詳細はお問い合わせください。

TEL.03-5799-7085



株式会社アイダンプロダクツジャパン

米国リオルダンクリニックの研究室から生まれた革新的サプリメント。柳澤会長とリオルダン博士が設計監修された高濃度ビタミンC点滴のサポートサプリIVC-MAXなどを取扱っております。是非ご活用ください。

TEL.03-6811-1318



株式会社ウエルハート

当社は薬監申請に基づき、海外の医薬品や医療機器の輸入に係る手続きの代行、調達、輸送時の商品管理等のサポートを行います。また、ドイツHumares社のオゾン機器、JBP社のヒトプラセンタ内服薬、の国内代理店業務を行っております。

TEL.03-5276-6071



株式会社こころ

欧米で盛んに研究され、その驚くべき効果がつぎつぎと発表されている麻由来のポリフェノール、CBD。いま、健康をサポートする栄養補助食品として医師や科学者の間で注目を集めています。詳細はお問合せ下さい。

TEL.048-291-8802



株式会社デトックス

株)デトックスは2005年から医療関係者のために、一流レベルの機能性医療検査と高品質の治療製剤とサプリメントを提供しています。検査はがん、自閉症、精神疾患、認知症、免疫関連と幅広くカバーしております。

TEL.03-5876-4511



一般社団法人日本メディカルオーガニック協会

毎月テーマに沿った「食・栄養に関する医学情報誌」と厳選した「オーガニック食品セット」をお届け。医師監修の元、医学的根拠に基づいた食と健康に関する知識を身につけることと共に、オーガニックな食材を体感することができます。

TEL.03-6277-3011



共同購入VC受注代行センター (有限会社ディスインターナショナル)

厚生局の指導に従い、法令遵守して医師による個人輸入をサポートいたします。Mylan社製ビタミンC製剤・Woerwag社製αリポ酸の受注窓口として、受注業務を代行しております。ご不明な点があれば気軽にお問い合わせください。

TEL.03-6300-0152



アウトバーン株式会社

アウトバーン株式会社

HGHクリスタルMDを始めとしたHGHサプリメントシリーズ
日本初のアミノ酸によるHGHに着目したサプリメントであり、20年の歴史がある商品となっております。臨床試験を実施し安全性と有用性を確認

TEL.078-327-7553



自費研株式会社

自費診療領域にて、独自の切り口と質の高い情報量で自費診療と自費経営のコンテンツやメディア、セミナーやイベントを提供し、自費診療で医療経営を強くすることを目的とした会員型プラットフォームサービスです。

TEL.03-4540-6583



株式会社サルベストロールジャパン

ニュージーランドのサルババエ社より認定を受け、日本におけるサルベストロールの販売提供を行っております。がん治療を目的とした医療機関向けサプリメントSalvestrol PLATINUM2000(点滴療法研究会推奨サプリメント)です。

TEL.03-6450-2406



ニプトジャパン株式会社

新型出生前診断 (NIPT) 検査の提供
陽性者には無料で遺伝専門医によるカウンセリング実施
現在採血協力機関募集中 謝礼 25,000円/件

TEL.03-6262-7771



株式会社ニュートリション・アクト

遺伝子レベルに着目した、医療機関専売サプリ【メロングリソディン プロ】細胞内の酸化酵素を誘導し活性化することで、本来の生命力を高め究極のアンチエイジングへ。その他DNA修復サプリ・ミトコンドリアサプリも。

TEL.03-3538-5811



株式会社分子生理化学研究所

当社は2002年に設立した医療機関向けサプリメントメーカーです。医師が選ぶサプリNo.1を獲得し、全国約5,000の医療機関導入をした実績から、栄養療法を実践する皆さまのサポートをさせていただきます。

TEL.03-5286-7010



アンブロシア株式会社

迅速・丁寧・安心をモットーに各種検査サービスをお届けします。(遅延型フードアレルギー/重金属(唾液・尿)/有機酸・環境汚染物質/副腎ストレス/SIBO(呼吸)/ビタミンD/男性・女性ホルモンなど)

TEL.044-299-7947



株式会社MSS

医師向けシェアNo.1のMSSサプリメントは、「医師の使用に耐えうる性能と品質」をお約束します。さらに、「栄養療法のトータルサポート企業」として、「栄養療法とサプリメント販売のノウハウ」を、先生方にご提供いたします。

TEL.03-5366-0208



株式会社スピック

「細胞は直接ほしがっていた。」
Lypo-Cはリポソームの中にビタミンCを包み込みました。リポソームビタミンCは理想的なビタミンCのとりかたを実現します。

TEL.0467-23-8161



日本ダグラスラボラトリーズ株式会社

DOUGLAS LABORATORIESは医師の手から患者様へ医師が責任を持って処方する信頼のブランドです。
1本からの卸、小ロットOEM、オリジナル商品製造、分包装等、多彩なサービスを取り揃えています。

TEL.03-5530-2212



株式会社ビーアンドエス・コーポレーション

約2,300の医療機関で導入される乳酸菌生成エキス『アルベックス』、認知症対策サプリ『プラズマローゲン』を扱っております。ご興味のある方は弊社公式ホームページ、又は下記TEL番号より資料請求くださいませ。

TEL.03-3288-0068



株式会社薬事法ドットコム

ドクターのためのオンラインサロン・メディカルビジネスサロン(月会費11,000円)では、医師・歯科医師の悩みを解決しながら、企業等とのマッチングを通して医師・歯科医師の個人年収1億円以上の達成を目指します。

TEL.03-6274-8781